

VI. 本取組におけるキャリア教育の支援

キャリアセンターでは、学生の明確な職業意識を育てるために学生を仕事にリンクさせる様々な支援を行っている。その概要を以下に示す。

VI-1. キャリアデザイン研修の開催

1年次前期にキャリアセンター主催で「キャリアデザイン研修」を行っている。その目的は、これまでの自分とこれからの理想の自分をつなげることができる4年間にしてもらうこと。そのために、①キャリアセンターが提供しているサポートの活用方法を知ること、②自分でキャリアデザインする方法を知ってもらうことの2点を主眼におき、研修を開催している。

【開催実績】

2011年6月8日（水）午前9時から10時30分

2011年6月10日（金）午前9時から10時30分

VI-2. 基礎演習の開催

経済学部では2009年より、1年次の必修科目である「基礎演習」において、就業力を育てるために、「学生ポートフォリオ」を活用し、「4年間計画表」作成している。その「4年間計画表」に基づき、「Semester目標」「1週間の計画」を立て、毎週「1週間の振り返り」を行っている。さらに、作成した「4年間計画表」・「1週間の振り返り」に対して、教員（1回/月）、および、学生アシスタント（1回/週）が様々なアドバイスをを行い、目標に根ざした学習・生活設計の習慣を身につけている。

図表VI-2. 学生ポートフォリオ 上:「4年間計画表」下:「学生生活ポートフォリオ画面」

4年間計画表 (キャリアデザインマップ) 作成日: 2012年 2月 21日 希望進路: 民間・教職・進学・公務員・その他

学籍番号	0806309	学部	経済学部	学科	経済学科	名前	西島 がおり
------	---------	----	------	----	------	----	--------

大学時代に挑戦したいこと
 ・勉学(最終でも成績優秀者IP4.0以上) ・英語力の強化(最終でもTOEIC900点) ・海外研修への参加 ・国内外のインターンシップに挑戦 ・大学外のビジネスコンテストに参加し、結果を残す

卒業後の活躍イメージ・進路の方向性
 民間就職: 日本が世界に誇るモノづくりの企業で、世界を舞台に活躍する

年次	前期				夏休		後期				春休	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年	単位20単位: 1P				大学執行役員		単位20単位: 1P				シンガポール研修	
2年	単位20単位: 1P				インターン(田島コーポレート)		単位18単位: 1P				海外インターン (カナダ)	
2年	ゼミ履し				TOEIC勉強(2回) 海外インターンの情報収集・応募							
3年	単位24単位: 1KS				勤バイト(週2コマ)		単位20単位				エントリーシート提出・結果	
3年	企業情報収集・自己分析・業界研究 ES完成・面接 長期インターンシップ(富士通)				希望企業の絞り込み・エントリーシートの作成							
3年	ゼミ合宿 サブゼミfor Nike! IP				ゼミ合宿 サブゼミ		日報IP		That's王子			
3年	SA											
3年	オアシスプログラム											
3年	TOEIC900への集中勉強											
4年	内定				後輩の進路支援							

☆ セッションタイムアウト: 編集中の画面は90分以内に登録を完了してください。編集中のデータが消失します。

学籍ポートフォリオ

学生生活ポートフォリオ

キャリアポートフォリオ

教職ポートフォリオ

コメント管理

グループ管理・ポートフォリオ閲覧

マニュアル

目標設定

→ **セメスター目標**

セメスター(前期・後期)の目標設定を入力します。
 学期目標や、進路実現に向けての努力目標など、今期に目指すこと、目標とすることを設定します。
 また、社会人基礎力の目標設定も同時に行い、自己評価の指針としましょう。

→ **1週間のリズム(計画表)**

セメスター開始時における1週間の生活リズム目標を、1日の時間の流れに沿って設定します。

→ **4年間計画表**

4年間の進路計画、努力目標、行事予定などを1年ごとのスコープで入力し、学生生活の行動計画の図を作成します。

達成状況

→ **1週間の活動記録**

1週間ごとの活動の記録を入力します。
 セメスター(前期・後期)開始時に設定した目標の達成について、1週間ごとの活動記録を入力します。
 進捗や反省点を踏まえ、計画を確認しましょう。

→ **1ヶ月の活動記録**

1ヶ月ごとの活動の記録を入力します。
 毎週の活動記録を振り返り、空月の目標を設定します。

→ **セメスター振り返り**

セメスター(前期・後期)開始時に設定した目標項目に対しての自己評価を入力します。
 また、社会人基礎力の目標設定も同時に行い、自己評価の指針としましょう。

ATOS: トップメニュー >>> PAGE-TOP

VI-3. インターンシップ参加への支援

VI-3- (1) 本学インターンシップの基本的な考え方

キャリア教育の一環として学生の就業意識の醸成を目指し、全学的な取り組みとして推進している。特に、インターンシップの参加に際しては様々な事前課題を学生に課している。具体的には、事前研修として、PC 講座やマナー講座などを実施している。インターンシップを単なる職業体験とするのではなく、学生の就業意識を高め、インターンシップで生じた課題を克服するために、目標を自ら設定し、今後の学生生活をいかに充実させるかという学習効果を目指している。

なお、インターンシップに関する情報はキャリアセンター窓口、また「創価大学キャリアセンターインターンシップ」のウェブサイト公開している。

URL : <http://career2.soka.ac.jp/internship/>

VI-3- (2) 2010 年度インターンシップ

① 2010 年度インターンシップの特色

(ア) インターンシップ希望者の増加

インターンシップを希望する学生は年々増えており、2010 年 4 月のインターンシップガイダンスには 1300 名が参加した。また、インターンシップ希望者の志願書の提出は春夏を含め 450 名を超え、年々増加傾向にある。

(イ) 公募制インターンシップを挑戦する学生が増加

キャリアセンターとしても 3 年生を中心に、①10 社以上のプレエントリーに挑戦すること②エントリーシートを書きあげることが最低限の達成目標として掲げ、公募制インターンシップへの参加も促した。その結果、6 月のエントリーシート対策講座には 600 名を超える学生が参加し、募集枠の少ない難関企業に挑戦する学生が増えた。

② 平成 22 年度の実績

総計 125 社 198 名 (前年度比 25 名減少)

内訳 大学紹介 71 社 143 名

公募・準公募 54 社 55 名

図表VI-3-(2)-1 2010年度 学部別実績

学部	経済学部			経営学部			法学部			文学部			教育学部			工学部		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	2	0	2	0	1	1	0	3	3	1	3	4	0	0	0	0	1	1
2年	4	10	14	9	4	13	1	11	12	3	8	11	0	1	1	1	0	1
3年	9	17	26	11	21	32	10	11	21	3	20	23	1	2	3	5	5	10
4年	3	3	6	0	1	1	1	2	3	0	4	4	1	0	1	1	0	1
修士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3	0	3
計	18	30	48	20	27	47	12	27	39	7	36	43	2	3	5	10	6	16

図表VI-3-(2)-2 2010年度 業種別 実習先

公務員	26	議員事務所	5
非営利・NPO・法律事務所	25	農業	2
建設業	8	製造業	14
マスコミ（出版・印刷）	5	電力	1
物流・不動産	4	金融	15
卸売・小売	21	サービス・教育	18
情報サービス	26	コンサルティング	8
ホテル・ブライダル・旅行	13	海外インターンシップ	5

VI-3-(3) 2011年度インターンシップ

① 2011年度インターンシップの特色

(ア) インターンシップへの参加意識の定着化

インターンシップガイダンスには昨年同様1300名の学生が参加しており、学生の参加意識が定着しつつある。

(イ) 学校紹介・公募型インターンシップに参加する学生の減少

学校紹介・公募型インターンシップへの参加者が減少した。その要因として、東日本大震災の影響もあり、受入先企業の減少があると推測される。

② 平成 23 年度の実績

総計 78 社 161 名 (前年度比 37 名減少)

内訳 大学紹介 62 社 144 名

公募・準公募 16 社 17 名

図表 I - 3 - (3) - 1 2011 年度 学部別実績

学部	経済学部			経営学部			法学部			文学部			教育学部			工学部		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1 年	1	0	1	1	2	3	2	3	5	0	5	5	0	5	5	1	0	1
2 年	4	12	16	6	4	10	3	11	14	1	14	15	1	3	4	0	1	1
3 年	2	8	10	11	21	18	7	9	16	5	15	20	0	3	3	7	2	9
4 年	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	2
計	7	22	29	20	27	47	12	23	35	6	35	41	1	11	12	8	5	13

図表 I - 3 - (3) - 2 2011 年度 業種別 実習先

公務員・国際機関	23	議員事務所	5
非営利・NPO・法律事務所	17	農業	3
建設業	10	製造業	7
印刷	2	金融	12
物流・不動産	16	サービス・教育	34
卸売・小売	14	コンサルティング	5
情報サービス	7	ホテル・ブライダル	6

VI-4. 授業科目の名称・内容

キャリアセンターが提供しているキャリア教育の科目名・内容については、キャリアセンターウェブサイトに掲載し、学生への周知に取り組んでいる。

VI-5. キャリア科目の充実

明確な職業意識を育てるためにキャリア科目の更なる充実に努めるとともに、学生へ積極的なキャリア科目履修の推進に取り組んでいる。主なキャリア科目として、世界を舞台に働くことがイメージできる、また、そのための具体的なキャリアパスと目標設定ができる「ワールドビジネスフォーラム」や就業観・就労観を明確化できる「キャリアデザインと職業」、自分の将来やキャリアを考え、その実現に向けた大学生活の目標と具体的な行動計画を立てる「キャリアデザイン基礎」などが挙げられる。

VI-5- (1) ワールドビジネスフォーラム

① 授業シラバス

(ア) 概要

「海外で仕事がしたい」「国際貢献がしたい」。この講義に少しでも興味を持った皆さんは、「海外で活躍する」ことに関心を持っているのではないのでしょうか。本講義は、世界を舞台に活躍する本学OB・OGをゲスト・スピーカーとして招き、「働くこと」の楽しさや厳しさなどを率直に語って頂く。皆さんにとって「世界を舞台に働くこと」をより身近に感じてもらい、そのために大学生活で何をやるべきか理解することを目的としている。この授業を通して、世界で活躍する為に、どのような大学生活を送ればいいのかを考えていく。

本講義では毎回、本学卒業生を講師として招き、講師と学生による双方向的な授業を行う。前半は海外での仕事の話を中心に、後半はキャリアパスを中心に授業を行い、世界を舞台に活躍するための「知識」や「スキル」を理解する。また講師の方には「印象に残った仕事」や「自分の仕事の世界とどうつながっているか」「どんな人材が求められているか」などを率直に語っていただく。

(イ) 到達目標

本講義を通して、世界を舞台に仕事をする事へのイメージを明確に描けるようになること。そのための具体的なキャリアパスと目標が設定できるようになること。

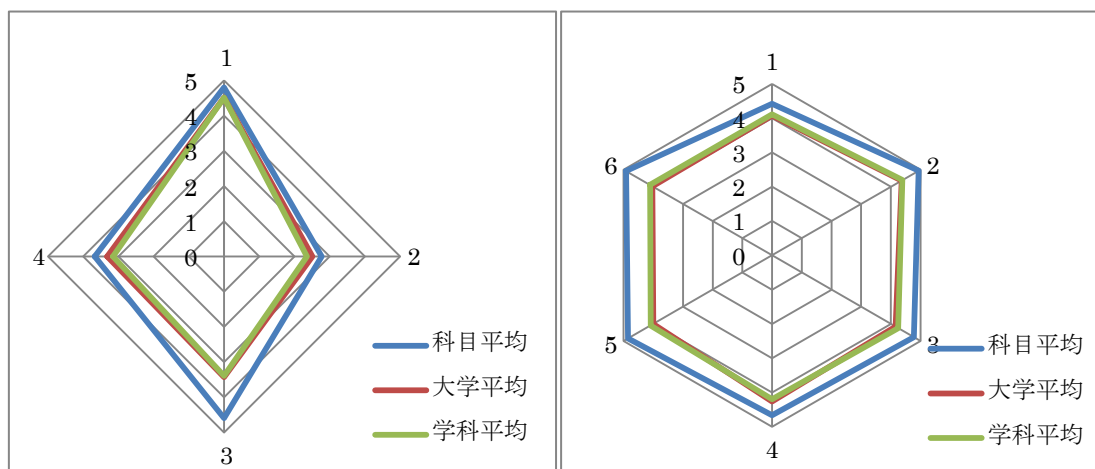
(ウ) 授業計画・内容

	内容
第1回	オリエンテーションー講義の概要と進め方
第2回	世界を舞台に活躍する人材の要件
第3回	外的キャリアから世界を舞台に活躍する ①グローバル企業で働く(メーカー①)
第4回	外的キャリアから世界を舞台に活躍する ②グローバル企業で働く(マスコミ)
第5回	外的キャリアから世界を舞台に活躍する ③グローバル企業で働く(NGO)
第6回	外的キャリアから世界を舞台に活躍する ④グローバル企業で働く(メーカー②)
第7回	外的キャリアから世界を舞台に活躍する ⑤グローバル企業で働く(総合商社)
第8回	外的キャリアから世界を舞台に活躍する ⑥グローバル企業で働く(職種 focus)
第9回	外的キャリアから世界を舞台に活躍する ⑦グローバル企業で働く(メーカー③)
第10回	海外で働く人のキャリアパス ①世界を舞台に働くための学生生活・就職活動
第11回	海外で働く人のキャリアパス ②グローバル人材を取り巻く環境とは
第12回	海外で働く人のキャリアパス ③外資系企業で働くということ
第13回	海外で働く人のキャリアパス ④大学院というキャリア
第14回	世界を舞台に ONLY1 の仕事に出会う
第15回	まとめ：世界を舞台に働くためのキャンパスライフデザイン

② 受講生の声(評価)

2011年度は、1年生141名、2年生12名が受講した。受講生158名を対象に実施したアンケートでは、「全体評価として、あなたはこの授業に満足しましたか?」との項目に対して、99.4%の学生が「かなり満足した」「ほぼ満足」と回答した。主な理由としては、「知的興味が高まり、学習意欲が増した」(90.3%)「新しい知識やスキルが身についた」(74.8%)などがあがった。

図表 I-5-(1) 左：受講生自身の自己評価 右：この授業に対する評価、



※アンケート有効回答数：158名

※アンケート項目：

《受講生自身の評価》

1. あなたはこの授業にどの程度出席しましたか？
2. あなたはこの授業について毎週、平均するとどの程度の予習・復習（課題への取組も含む）をしましたか？
3. あなたはこの授業について、教員に質問をするなど意欲的に学習しようと心がけましたか？
4. あなたはこの授業について、教員に質問するなど意欲的に学習しようと心がけましたか？

《この授業に対する評価》

1. この授業で使用されている教材や補助手段（教科書や配布資料など）は適切でしたか？
2. 教員は熱意をもって授業を行いましたか？
3. この授業は当初の予定（講義要項・シラバスなど）通りに進められましたか？
4. 教員は学生の質問や意見を適宜聞くなど、学習を支援する努力をしていましたか？
5. あなたはこの授業を理解できましたか？
6. 全体評価として、あなたはこの授業に満足しましたか？

VI-5-(2) キャリアデザインと職業

① 授業シラバス

(ア) 概要

本授業は、現代社会における働く意義やキャリア形成に重要な要件を学び、皆さんに自身のワークスタイル（＝働き方）を考える機会を提供する。様々な業界・職種の第一線で活躍する本学OB・OGを講師として迎え、学生時代の過ごし方は勿論、働くことやキャリアについて率直に語っていただく。またキャリアデザインに関する専門家による職業観を養成する講義も行う。

4年間という短い大学生活の中で、早い段階から「働くこと」を考えることは、充実した大学生活を送り、自身の夢を実現させるために必要不可欠なことである。急速な変化を遂げる現代社会において、何を学びどう学生生活を送るのかを、本授業を通して考えていく。

(イ) 到達目標

自分自身の将来やキャリアを考え、「社会で働くこと」と「大学で学ぶこと」を自分の中でしっかり意義付けできるようになる。また、自分自身の「未来のステージ」には様々な選択肢があることを知り、その仕事に就くためのアプローチ方法を考えられるようになることを目指す。具体的目標は以下の6点とする。

1. 「なぜ働くのか」という問いに自身の価値観を整理し、人生設計を考えることができる。
2. 現代を取り巻く社会環境を知り、自身にとってより良い働き方とは何かを考えることができる。
3. 職業の主な「業界」と「職種」について興味を持ち、リサーチをすることができる。
4. 内的・外的キャリアシートを用いて、自分自身が持っている「仕事」に対する興味や視点を理解する。
5. 講師の様々な仕事観を理解し仕事の多様性を認識すると同時に、将来の自分自身のワークスタイルの選択肢を増やす。
6. 社会が求める人材の要件を学び、今後の学生生活をどうプランニングするかを具体的に考える。

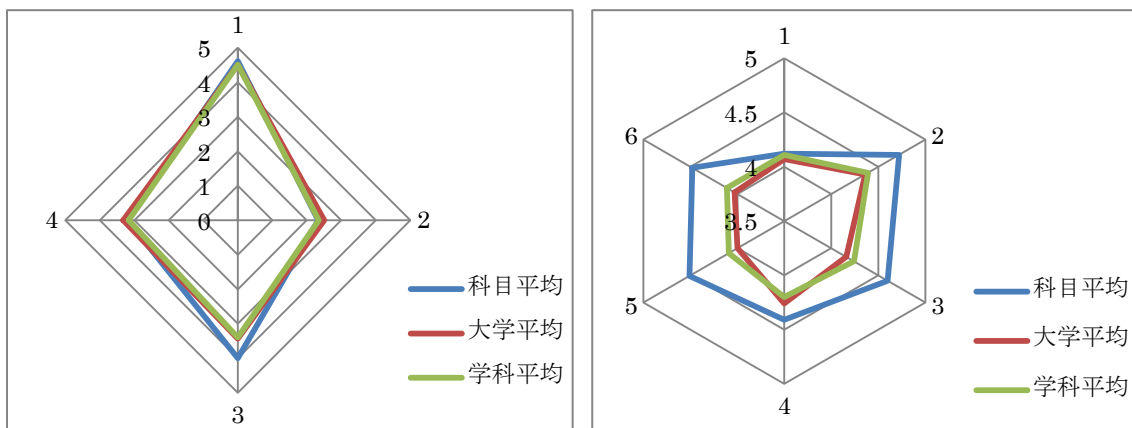
(ウ) 授業計画・内容

	内容
第1回	オリエンテーション ～講義の内容と進め方～進路を発見するために
第2回	OBOG 講演①「流通・小売」 ～なぜ働くのか・働くとは～
第3回	総論 ～より良い働き方とは何か～雇用形態と人生設計
第4回	OBOG 講演②「製造業・電機」 ～雇用形態とキャリア形成について～
第5回	総論 ～現代のキャリアモデル～流動化する人材市場を生き抜く
第6回	OBOG 講演③「金融・IT」 ～キャリアチェンジを考える～
第7回	総論 ～様々な進路について考える～業界と職種から仕事を見る
第8回	総論 ～自分自身を知る～自分の興味から仕事の価値観を整理する
第9回	OBOG 講演④「旅行・サービス業界」 ～顧客に最高級の『満足』を与える！～
第10回	OBOG 講演⑤「医薬品業界」 ～健康と医療 人を助ける仕事～
第11回	OBOG 講演⑥「地方公務員」～地域活性化のために奮闘する～
第12回	総論 ～身近なロールモデルを探す～先輩の内的・外的キャリア
第13回	講演 「社会が求める人材像とは？」 ～人事・研修担当者からの考察～
第14回	学生生活で力をつける① まとめ①
第15回	学生生活で力をつける② まとめ②

③ 受講生の声 (評価)

2011年度は、1年生75名、2年生36名が受講し、受講生111名を対象に実施したアンケートでは、本授業に対する評価の全ての項目において大学平均を上回る高い評価を得た。

図表 I-5-(2) 左：受講生自身の自己評価 右：この授業に対する評価、



※アンケート有効回答数：111名

※アンケート項目：図表 I-5-(1) を参照

VI-5-(3) キャリアデザイン基礎

① 授業シラバス

(ア) 概要

「大学で学ぶことの意味とは?」「大学生活と社会のつながりって何?」「自分は将来何をしたいのだろうか?」「自分の夢を実現するために、どのような大学生活を送ればいいのか?」これらの疑問について考え、自分自身の大学生活の過ごし方、キャリアデザインを実践的に行っていくことが本講義の目的である。

本授業を通して、自身のキャリアデザインと4年間のキャンパスライフデザインを自分自身で行えるようになるであろう。

(イ) 到達目標

- ・将来のゴールをみつめながら、大学生活をデザインする力を身につけること
- ・自分と社会、大学での学問と社会という関連性を学ぶことにより、大学生活そのものへの意欲を高めること

(ウ) 授業計画・内容

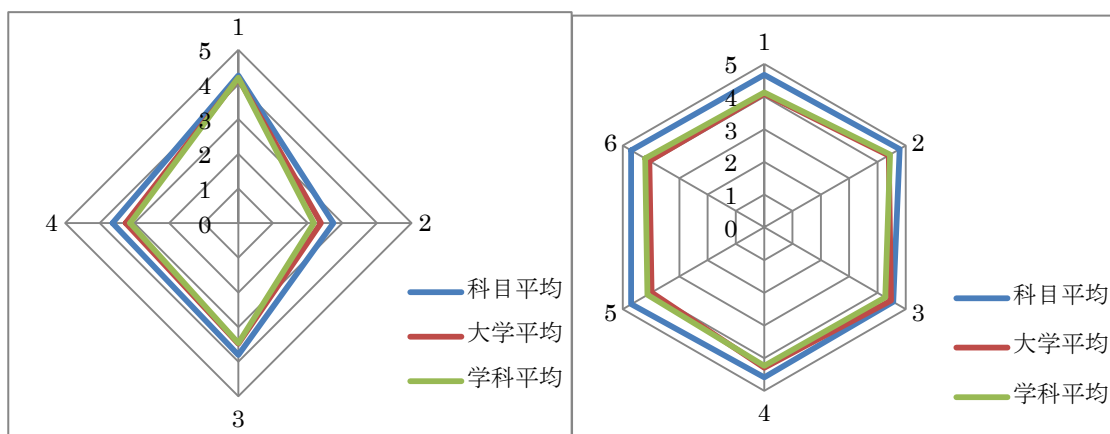
	内容
第1回	オリエンテーションーこの授業の内容と進め方
第2回	キャリアデザインとは～社会の中で生きる～
第3回	社会を知る①～コミュニケーションは社会のベース～
第4回	キャリアデザインを考える 導入編 ～4年生の事例から～
第5回	社会を知る② ～ニュースの背景を知る～

第6回	社会を知る③ ～時代の流れを読む～
第7回	仕事について考えよう① ～業界や企業を知る～
第8回	仕事について考えよう② ～業界研究・発表～
第9回	仕事について考えよう③ ～企業比較～
第10回	自分について考えよう① ～価値観や行動パターンを知る～
第11回	自分について考えよう② ～自分の強みを知る～
第12回	仕事について考えよう④ ～興味・関心から仕事を考える～
第13回	仕事について考えよう⑤ ～企業・団体に求められる力を知る～
第14回	大学生活の目標を立てる① ～行動計画を作る～
第15回	大学生活の目標を立てる② ～行動計画を発表する～

② 受講生の声 (評価)

2011年度のキャリアビジョン基礎は、月曜から木曜にかけて合計10クラス同内容で開講し、1年生220名が受講した。

図表VI-5-(3) 事例1：月曜2コマ (27名)



※アンケート項目：図表I-5-(1)を参照

VI-6. OBOG懇談会の開催

VI-6-(1) OBOG懇談会

本学では、キャリアセンター主催でOBOG懇談会を開催している。この懇談会では、各界で活躍するOBOGを招き、業界や仕事、学生生活についてなど、就業力を育てるための懇談会を開催している。

【開催実績】

① 2010年度第3回OBOG懇談会

2010年11月13日(土)午後1時から午後5時まで第3回OBOG懇談会を開催した。1年生、2年生、3年生、大学院1年生など、約300名の学生が参加した。参加した学生からは「働く魅力や仕事のやりがいなどを聞く事ができ、将来の働くイメージをつかむことができた。」「希望する進路に必要な力が明確になりました」などの声があがった。

=OBOG出身一覧=

三菱UFJニコス株式会社、日興コーディアル証券株式会社、株式会社三菱東京UFJ銀行、株式会社ドワンゴ、清水建設株式会社、全日本空輸株式会社、株式会社ミキハウス、株式会社リンク・セオリー・ジャパン、株式会社ファミリーマート、プライスウォーターハウスクーパース株式会社、積水ハウス株式会社、楽天株式会社、株式会社ハピネット、伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社、株式会社トーメンエレクトロニクス、丸紅株式会社、株式会社プリンスホテル、グラクソ・スミスクライン株式会社、テルモ株式会社、株式会社ヤクルト本社、株式会社イトーキ、三菱自動車工業株式会社、株式会社日立製作所、ソニー株式会社、ローム株式会社、富士ゼロックス株式会社、株式会社JTBワールドバケーションズ

② 2010年度第4回OBOG懇談会

2011年1月8日午後1時から午後4時30分まで第4回OBOG懇談会を開催し、1年生、2年生、3年生、大学院1年生など、約400名の学生が参加した。参加した学生からは「会社の魅力、職場のリアルな雰囲気等、深い話を聞いて本当に良かったです。これからの就活に役立つと確信しています。今日いただいたアドバイスを少しずつ実践していきます。」とても参考になりました。OGの方からは、女性の視点からの会社選びのポイントを教わりました。疑問が解消できて、本当に良かったです」などの声があがった。

＝OBOG出身一覧＝

グラクソ・スミスクライン株式会社、テルモ株式会社、株式会社ドワンゴ、楽天株式会社、株式会社ヤクルト本社、三菱UFJニコス株式会社、日興コーディアル証券株式会社、株式会社三菱東京UFJ銀行、清水建設株式会社、全日本空輸株式会社、株式会社ファミリーマート、株式会社リンク・セオリー・ジャパン、株式会社ミキハウス、プライスウォーターハウスクーパース株式会社、積水ハウス株式会社、伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社、株式会社トーマンエレクトロニクス、丸紅株式会社、株式会社イトーキ、株式会社プリンスホテル、三菱自動車工業株式会社、株式会社日立製作所、ソニー株式会社、ローム株式会社、富士ゼロックス株式会社、株式会社JTBワールドバケーションズ

③ 2011年度第1回OBOG懇談会

2011年7月31日（日）午後1時から午後4時まで第1回OBOG懇談会を開催し、1年生、2年生、3年生、大学院1年生など、約300名の学生が参加した。参加した学生からは「具体的な仕事内容、就職活動時の体験を聞くことができ、働くことへのイメージをつかむことができました。企業を見る上で、大切な軸を得た気がします」や「女性の働く環境について、詳しく話を聞くことができたので、とてもよかったです。先輩方が熱心に説明してくださり、本当に感謝しています」などの声があがった。

＝OBOG出身一覧＝

■民間企業

ソフトバンクモバイル株式会社、NTTコムウェア株式会社、丸紅株式会社、日本サムスン株式会社、日本紙パルプ商事株式会社、株式会社JTB法人東京、ソニー株式会社、パナソニック株式会社、株式会社日立製作所、ローム株式会社、いすゞ自動車株式会社、株式会社日テレイベンツ、株式会社プリンスホテル、株式会社三越伊勢丹、株式会社昭文社、アクセンチュア株式会社、全日本空輸株式会社、株式会社竹中工務店、みずほ銀行、アサヒビール株式会社、エーザイ株式会社、日本イーライリリー株式会社

■公務員

独立行政法人国際協力機構、横浜市役所

■教員

小学校教員

④ 2011年度第2回OBOG懇談会

2011年10月19日（土）午後1時から午後4時30分まで第2回OBOG懇談会を開催し、1年生、2年生、3年生、大学院1年生など、約400名の学生が参加した。参加した学生からは「これまで就活に消極的でしたが、魅力的なOBOGに出

会えて、意欲が沸いてきました。どの先輩も、人格的にも非常に尊敬できる方ばかりで感動しました。」「就活には、正解も不正解もないのだということに気付かされました。視野が広がり、奮起することができました。」「女性という立場での現状を聞くことができ、とても参考になりました。現場の生の声を聞く事が出来て良かったです」などの声があがった。

＝OBOG出身一覧＝

マーク・ジェイコブス・ジャパン株式会社、アストラゼネカ株式会社、株式会社ベネッセコーポレーション、JPモルガン証券株式会社、三井住友海上火災保険株式会社、株式会社三菱東京UFJ銀行、大成建設株式会社、全日本空輸株式会社、株式会社電通、プライスウォーターハウスクーパース株式会社、KDDI株式会社、三菱商事マシナリ株式会社、蝶理株式会社、三井物産スチール株式会社、株式会社高島屋、株式会社京王プラザホテル、株式会社ブルボン、日立建機株式会社、本田技研工業株式会社、富士電機株式会社、シャープ株式会社、富士ゼロックス株式会社、NECディスプレイソリューションズ株式会社、株式会社帝国データバンク、クラブツーリズム株式会社

⑤ 2011年度第3回OBOG懇談会

2011年1月7日(土)午後1時から午後4時30分までOBOG懇談会を開催し、1年生、2年生、3年生、大学院1年生など、約350名の学生が参加した。参加した学生からは「ホームページでは知ることができなかった情報をOBOGの方より伺うことができ、本当に勉強になりました。」「研究のことや専門的な分野の話を知ることができ、とても勉強になりました」などの声が上がった。

＝OBOG出身一覧＝

凸版印刷株式会社、武田薬品工業株式会社、三菱UFJ信託銀行株式会社、SMBC日興証券株式会社、株式会社三井住友銀行、新菱冷熱工業株式会社、株式会社大林組、株式会社電通、株式会社関電工、株式会社セブンーイレブン・ジャパン、株式会社日立ソリューションズ、株式会社ベネッセコーポレーション、日本アイ・ビー・エム株式会社、ソフトバンクモバイル株式会社、西武信用金庫、日本紙パルプ商事株式会社、三菱商事株式会社、株式会社損害保険ジャパン、株式会社三越、株式会社リコー、ホンダエン지니어リング株式会社、株式会社ニューバランスジャパン、東京エレクトロン株式会社、レンゴー株式会社、富士通株式会社、NEC（日本電気株式会社）、パナソニック株式会社、株式会社東芝、近畿日本ツーリスト



OBOG 懇談会の様子

VI-6-(2) Design Your Dreams

自分自身の可能性を信じて、夢を描き、叶えるための行動を明確にする。そして、夢に向かっての一步踏み出すことを目的に本イベントを開催。国際協力機関・民間企業・教員・公務員等の各分野で活躍をしている本学OBOG20名を招き、懇談会を行っている。懇談会では、学生が自分の夢を実現できるステップが明確になるよう、キャリアパスや学生生活をより充実させる方法まで、多岐にわたる情報を提供している。

【開催実績】

2011年12月4日（日）13時～17時 1・2年生659名、OBOG20名が参加

=OBOG出身一覧=

■民間企業

アクセンチュア株式会社、清水建設株式会社、株式会社セブン-イレブン・ジャパン、全日本空輸株式会社、ソニー株式会社、株式会社東芝、日産自動車株式会社、株式会社報知新聞社、丸紅株式会社、マーク・ジェイコブス・ジャパン株式会社、株式会社みずほ銀行、株式会社三越伊勢丹ホールディングス

■公務員

衆議院事務局、東京都庁、独立行政法人国際協力機構（JICA）、横浜市役所

■教員

公立小学校、公立中学校英語科、私立高校社会科



Design Your Dreams 写真

VI-6-(3) Bridge to the Future

将来の進むべき方向性を定める1つのイベントとして、1day 就業体験イベント「Bridge to the Future」を開催。本イベントは本学の卒業生を講師に招き、就業体験ゲームを行っている。その就業体験を通して、仕事の醍醐味や面白さを体感し、進むべき方向性を定めるひとつの機会を提供している。

【開催実績】

2012年1月29日（日）10時～16時30分 2年生367名、OBOG23 業界54名参加

=OBOG出身一覧=

■民間企業

アクセンチュア株式会社、アビームコンサルティング株式会社、伊藤忠テクノソリューションズ株式会社、インテル株式会社、株式会社エヌ・ティ・ティ・データ、株式会社大林組、鹿島建設株式会社、グラクソ・スミスクライン株式会社、KDDI株式会社、株式会社小松製作所、サンスター株式会社、株式会社JTB 法人東京、株式会社スリーボンズ、ソニー株式会社、ソフトバンク株式会社、株式会社タンガロイ、凸版印刷株式会社、株式会社東芝、株式会社トライアンプ、新潟県労働金庫、株式会社日建設計、日本アイ・ビー・エム株式会社、日本通運株式会社、日本ヒルトン株式会社、日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社、パナソニック株式会社、日立工機株式会社、株式会社日立製作所、株式会社日立ソリューションズ、富士通株式会社、株式会社報知新聞社、丸紅株式会社、株式会社三井住友銀行、三菱商事株式会社、株式会社三越伊勢丹ホールディングス、ロート製薬株式会社、ローム株式会社、

■公務員

横浜市役所、岡山市役所、国税専門官、
裁判所事務官、国家公務員一般職

■教員

横浜市小学校、私立高校社会科



Bridge to the Future 当日の様子①



Bridge to the Future 当日の様子②

VI-7. 学生を仕事にリンクさせるウェブサイトの充実

就業力を育てる文化・風土の更なる醸成に向けて、様々なコンテンツの充実に取り組んでいる。また、各種イベントの写真や参加者の声を掲載している。また、ストリーミングサーバを活用し、OBOGの講演などをキャリアセンターのパソコンで視聴できるようにしている。これにより、参加できなかった学生やその他の学生に対しても就業力に対する意識の向上に努めている。

VI-8. 進路選択に必要な情報を得るためのキャリア関連書籍の充実

キャリアセンターでは、キャリア科目の提供やOBOG懇談会の開催だけでなく、学生が自主的にキャリアについて考え、就業力を向上できるよう、キャリア関連書籍の充実にも取り組んでいる。キャリア関連書籍は、「キャリア」・「学生生活」・「進路」に関する書籍がカテゴリー別に分類され、キャリア・デザインステーションに設置されており、1年生から4年生まで、就業に対する意識を高めるのに役立っている。2011年度は、「キャリア」に関する書籍121冊、「学生生活」に関する書籍131冊、「進路」に関する書籍163冊、合計415冊を新たに購入し、キャリア関連書籍の充実を図った。

- ・「キャリア」に関する書籍：121冊
- ・「学生生活」に関する書籍：131冊
- ・「進路」に関する書籍：163冊 計415冊

VI-9. キャリア科目内での学生進路アドバイザーによる充実した面談体制

本学ではキャリア科目内で学生進路アドバイザー(キャリアサポートスタッフ:CSS)による面談を実施している。具体的には、キャリア科目の一つである「キャリアデザイン基礎」において、受講生全員を対象に就業力意識の向上を目的に、①キャリアを考え、今後の計画を立てること、②「創価大学の就業力」を身に付けるための計画を立てること、以上2点を到達目標とし、面談を行っている。面談は、CSS1人に対して受講生3人を担当し、90分間の面談を合計2回行う。CSSが面談を行うことで、1年生一人ひとりに合った密なサポートをすることができ、就業意識向上を促すことができている。